

海外旅行の時は、特に

注意

最近ではジカ熱・デング熱・麻しん（はしか）に要注意です。



【人】H28は速報値

報告者数	全国			横浜市			
	H26	H27	H28	H25	H26	H27	H28
デング熱	341	293	338	11	20	20	13
細菌性赤痢	158	156	121	7	3	6	3
腸管出血性大腸菌感染症	4151	3573	3641	74	117	122	92
麻しん	462	35	159	2	11	1	0

全国的に増えてます!!



旅行前に渡航先で流行している感染症をチェック!



【厚生労働省検疫所ホームページ】

●厚生労働省検疫所ホームページ トップページから渡航先をクリック!
(海外で健康にお過ごしいただくための情報サイト)

<http://www.forth.go.jp/>

●外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●横浜市保健所ホームページ (海外に渡航される方へ)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/hokenjo/genre/kansensyo/abroad.html>

【データは平成29年5月末時点】

どこから感染するの？

食べ物や水から

細菌性赤痢、A型肝炎、腸チフス、パラチフス、腸管出血性大腸菌（O157など）感染症 など

動物から

MERS、狂犬病、鳥インフルエンザ、ハンタウイルス肺症候群 など



蚊から

マラリア、デング熱、チクングニア熱、黄熱、ジカ熱 など

ダニから

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ライム病

蚊に刺されないための工夫

- ・長そで、長ズボンを着用
- ・素足でサンダルをはかない
- ・虫よけスプレー、蚊取り線香、蚊帳、網戸などを使用

※蚊からうつる感染症の中に、デング熱があります。デング熱に感染したあと、違う型のデング熱に感染すると重症型のデング出血熱になる危険性が高くなります。



帰国後体調が悪くになったら

すぐに医療機関に相談しましょう。発熱、発疹、下痢などの症状がある場合、周囲の人に感染させるおそれがあります。

必ず受診前に医療機関へ電話し、①症状②渡航先③滞在期間④動物との接触などを伝えてください。



【お問い合わせ先】 平日8:45～17:00各区の福祉保健センター福祉保健課健康づくり係（市外局番:045）

青葉	978-2438	旭	954-6146	泉	800-2445	磯子	750-2445	神奈川	411-7138
金沢	788-7840	港南	847-8438	港北	540-2362	栄	894-6964	瀬谷	367-5744
都筑	948-2350	鶴見	510-1832	戸塚	866-8426	中	224-8332	西	320-8439
保土ヶ谷	334-6345	緑	930-2357	南	341-1185				

感染症流行地での注意点

- ・生ものは食べない。
生野菜、カットフルーツ、生の魚介類、しぼりたてのもの（ミルク・アイスクリーム） など
- ・生水は飲まない。
氷入りの飲み物も避ける。沸騰させた水、ミネラルウォーターを飲むようにする。
- ・加熱していない肉や不衛生な状況で用意された食品の摂取を避ける。
- ・動物やその死骸、排せつ物に近づいたり触ったりしない。
※狂犬病は日本を含む数か所の地域を除き、ほとんどの国で発生しています。動物（イヌ、ネコ、サル、コウモリなど）に咬まれたらすぐに現地の医療機関を受診しましょう。
- ・食事の前には、手洗いをする。
- ・蚊に刺されないようにする。

その他に・・・

- ・海外旅行で気を付けたい感染症の中には予防接種があるものもあります（麻しん、黄熱、A型・B型肝炎、破傷風、ポリオ、日本脳炎など）。渡航先の流行状況を確認し、医師に相談の上、接種を検討しましょう。
- ・川や湖、沼などの水辺には感染症の原因となる寄生虫などがいる可能性がありますので流行地では素足で歩いたり、水に入ったり泳いだりすることを避けましょう。